

令和3年度 環境経営レポート



対象期間：令和2年11月1日～令和3年10月31日

発行年月日：令和3年11月10日

 株式会社 東北ネット工業

目

次

- 1 環境経営方針**
- 2 事業概要&認証登録範囲**
- 3 実施体制**
- 4 環境経営目標**
- 5 環境経営計画**
- 6 環境経営目標の実績**
- 7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容**
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無**
- 9 代表者による全体評価と見直し結果**

1. 環境経営方針

[環境理念]

株式会社東北ネット工業は、スポーツ施設及び社会基盤整備を担う建設業の一員として、人・社会基盤・自然との調和を大切にするという経営姿勢をもとに、地域に奉仕し地域に必要とされることをよこびとし、より良い環境を未来に引継いでいくことを目的とし、スポーツ施設整備・社会基盤整備における環境負荷の低減および環境調和の構築にむけ、全力で取り組みます。

[行動指針]

- ①スポーツ施設・社会基盤整備を行ううえで、環境に配慮した使用機械・施工方法を検討し実施する。
- ②スポーツ施設の設計を行ううえで、リサイクル製品・エコ製品を提案し、修繕のときには、可能な場合は中古部品の使用を提案する。
- ③電力使用量・化石燃料使用量の削減に取組、二酸化炭素排出量削減に努める。
- ④水の使用量・排水量の削減に努める。
- ⑤廃棄物の排出量の削減に取組、リサイクルなどへの適正処理に努める。
- ⑥事業所内では、節電・節水・省エネに努め、グリーン製品調達に努めます。
- ⑦地域貢献活動・環境保全活動への参加を積極的に行います。
- ⑧事業活動に関する法規制は、確実に遵守することを誓約します。
- ⑨環境経営の継続的な改善を行います。

制定日 平成 25年 3月 25日
改定日 令和 3年 1月 15日 (第三版)

株式会社 東北ネット工業
代表取締役 高橋 宇宙

2. 事業概要&認証登録範囲

1. 株式会社 東北ネット工業

本社 岩手県奥州市水沢区佐倉河字西館145-1
TEL 0197-24-9860
FAX 0197-22-4798
E-mail info@tohokunet.co.jp
仙台営業所 宮城県仙台市青葉区上愛子字雷神7-26
TEL 022-392-9030
FAX 022-392-9005

2. 代表者名

代表取締役 高橋 宇宙

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者及び担当者
営業部 佐藤 和彦
連絡先
TEL 0197-24-9860
FAX 0197-22-4798
E-mail satou@tohokunet.co.jp

4. 事業活動の内容

土木工事業、とび・土工工事業、造園工事業、ほ装工事業、水道施設工事業
岩手県知事許可(特-29)第8960号
防球ネット、バックネット、防風・防雪ネット、各種ネット・シート及び各種フェンス
の設計・施工・販売

5. 事業規模 令和3年度(令和2年11月1日～令和3年10月31日)

資本金 二千万円
売上高 五七千万円
従業員数・事業所面積

項目	本社	仙台営業所
従業員数	32名	2名
延床面積	187m ²	280m ²
敷地面積	1630m ²	360m ²

6. 認証登録範囲

全社、全組織、全事業活動が認証登録範囲

7. 事業経歴・営業範囲

事業経歴

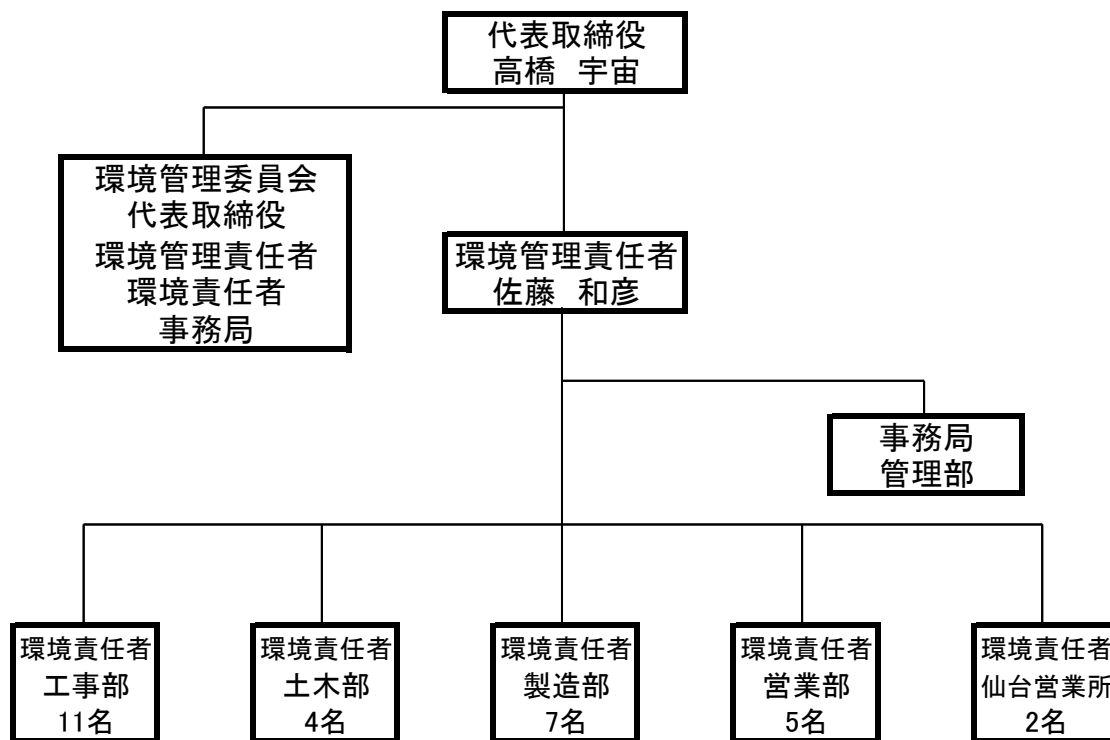
昭和60年5月	創業
昭和62年5月	仙台営業所開設
昭和63年11月	本社事務所移転
平成元年12月	法人化
平成3年11月	本社事務所移転
平成23年9月	仙台営業所移転
平成31年4月	代表取締役社長に高橋宇宙が就任

営業範囲

東北・関東・北陸 全域

3. 実施体制

1. 組織図



EIAアクション管理責任者 (現場代理人)
 (現場代理人)
 (工場長)
 (営業部長)
 (営業 遠藤)

2. 役割・責任・権限

代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括。 ・県境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・経営上の課題とチャンス の整理と明確化。 ・環境管理責任者から報告を受け全体の評価と見直しを実施。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門に指示し実施する。 ・内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合が有る場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者を補佐し、環境経営システムの構築、実施、管理を行う。 ・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告する。 ・環境活動レポート作成、公開(事務所に備付と地域事務局への送付) ・従業員に対する教育訓練の実施。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録の管理。
環境責任者 (各部門責任者)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの実施、管理、維持する。 ・各部門において、省資源・省エネ・節水等の奨励・実施・確認・是正。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

4.環境経営目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成29年度 (基準年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	100kg-CO ₂	2,211.20	1,480.89		
購入電力使用量	kwh	18,045.00	17,667.00		
廃棄物排出量	t	265.20	35.87		
産業廃棄物排出量	t	265.00	34.20		
一般廃棄物排出量	t	2.00	1.67		
総排水量(水資源投入量)	m ³	97.00	124.00		
その他					

注:

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(H28/12)の実排出係数 0.556kg-CO₂/kwhを使用。

2 環境経営目標の設定

当社では、平成29年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成29年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度実績値		中間目標(内単年度目標)		
	実績値	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	2,211.2	100kg-CO ₂	2.00	2.00	2.00
購入電力使用量	18,045.0	kwh	2.00	2.00	2.00
産業廃棄物排出量	265.2	t	2.00	2.00	2.00
一般廃棄物排出量	2.0	t	2.00	2.00	2.00
総排水量(水資源投入量)	97.0	m ³	3.00	3.00	3.00
グリーン購入	0.0	品種/年	5.0	5.0	5.0
製品・サービス	0.0	件/年	10.0	10.0	10.0

5. 環境経営計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。

表3 主な環境経営計画の内容と取組結果

環境活動項目		取組内容	評価	
二酸化炭素排出量の抑制	照明・節電	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する。	○	
		②事務室の部分照明を実行する。	○	
	冷暖房	①冷暖房の温度(冷房25℃、暖房24℃)を順守する。	○	
		②使用していない部屋は、空調を停止している	○	
		③ドアの開け放しはしない。	○	
	車輦・その他	【エコドライブ運動の展開】		
		①車両のアイドリングストップを実践する。	△	
		②空ぶかしはしない。	○	
		③冷暖房の控えめ使用。	△	
		④排気ガス、騒音のレベルを抑えるため、適正な車両整備を行う。	○	
		⑤営業ルートは効率的に移動する。	○	
		【建設機械の省エネルギー展開】		
		①現場へ移動する際は、相乗りをする。	○	
		②建設機械等に過剰な負荷をかけない。	△	
③建設機械等の運転を停止する際は、エンジンを停止する。		○		
④建設機械等をリースする際は、省エネルギーの機種を優先的に選定・リースする。	○			
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	【コピー用紙の使用量を抑制する】		
		①両面印刷、コピーを徹底する。	○	
		②コピーは最小限の枚数を行い、余分なコピーは行わない。	○	
		③使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。	○	
		【紙は資源回収業者に引き渡す】		
		①分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	○	
		【コンピュータ等OA機器の導入により事務を高度化する】		
		①電子メール等を利用し紙を削減する	○	
		②パソコンで社内ネットワークを構築し、文書を共有する。	○	
		③文書の共有により、不要な印刷物を削減する	○	
	産業廃棄物	【オフィス等におけるリサイクルの促進】		
		①紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	○	
		②コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	△	
		③産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	○	
節水	水道水の削減	①水道水を出しすぎない。	○	
		②水道を流しながら使用しない。	○	
		③節水の表示を行う	○	
グリーン購入	①再生材料より作られた事務用品を優先的に購入・使用する。	△		
製品・サービス	①再利用出来る製品の活用を提案する。	△		
地域貢献 ボランティア	①地域のボランティア活動に積極的に参加する。	○		
	②現場・事業所の周辺の清掃活動を行う。	○		

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

6. 環境経営目標の実績

当社では、環境経営目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、令和2年11月から令和3年10月までの実績についての評価結果を報告いたします。

表4 当該活動期間中(R2/11~R3/10)の環境目標の達成状況等

項目	単位	当該年度				環境目標の達成状況
		実績値	削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
1、電力の使用量	100kg-CO ₂	180.45	2.0%削減	176.8	176.67	○
2、二酸化炭素合計	100kg-CO ₂	2,211.20	2.0%削減	2,166.9	1,480.89	○
3、一般廃棄物	t	2.00	2.0%削減	1.96	1.67	○
4、産業廃棄物	t	265.2	2.0%削減	259.8	34.20	○
5、総排水量(節水)	m ³	97.0	2.0%削減	95.0	124.00	×
6、製品・サービス	品種	0.0	1件/年	10.0	1.00	×
7、グリーン購入	品種	0.0	10%増加	10.0	2.00	×
8、その他						

二酸化炭素排出係数は、0.556kg-CO₂/kwh(東北電力H29年12月発表分を使用)

※目標の達成状況は ○:目標値/実績 \geq 98%

△:95%>目標値/実績 \geq 90%

×:90%>目標値/実績

※達成状況の評価の基準を記入する。

環境活動の状況

1. 電力の二酸化炭素削減

昼休みや、使用していない施設の完全消灯及び、作業中の部分照明
冷暖房の温度設定(冷房=25° 暖房=24°)の徹底及び停止

2. 二酸化炭素合計の削減

車両のエコカー切り替え(アイドリングストップ仕様等)
作業トラック等での移動を最小限とし、宿舎への乗用車での乗り合い移動
重機等は省エネルギーの機種を優先使用

3. 一般廃棄物削減

ノーペーパーの実施、パソコンのデータ送受信利用等
FAX受信の電子メール化

4. 産業廃棄物削減

産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理をおこなう。
資材発注の適正化による余材の抑制

5. 総排水量削減

水道を流しながらの使用をしない

6. 製品・サービスの取組

現場で発生した余剰ネット原反の再利用
再利用の製品を利用した無償補修

7. グリーン購入

コピー用紙・トイレトペーパー等の再生紙利用
再生ペットボトル樹脂使用のエコネット原反の購入

8. その他の取組

市内の学校施設への地域貢献(破損ネットの無償補修等)
グリーンカーテンによる外気熱の抑制

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価	今後の取組	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	LED100%を目標として70%程度は実現したが、今後も継続し30年度にはより近いものになりたい。	次の対策を検討
	冷暖房	夏季はグリーンカーテン、窓の開放(冷房を止める)等を行っている。夏季、冬季共に温度設定の管理を徹底している。	現状維持にて継続
	車輛・その他	受注・売上は昨年度を維持しているが、燃料消費を抑えることができた。	現状維持にて継続
廃棄物排出量の抑制	一般廃棄物	基準年の数値単位に誤りがあり、0.2tを2.0tに修正した。実績値は目標数値より下方に向かい成果がでている。	現状維持にて継続
	産業廃棄物	今期は土木の現場が少ない為、産廃の数量が減った結果と思われる。	現状維持にて継続
節水	水道水の削減	本社の水道使用量が著しい増加がみられたが、漏水が原因であった為、修理をに対応した。	現状維持にて継続
グリーン購入	事務用品のグリーン購入を促進させる。	環境活動取組の周知徹底	
製品・サービスに関する取組	中古資材の使用を提案する。	現状維持にて継続	
地域貢献・ボランティア	地域貢献活動は、コロナの影響もあり2回の参加となった。	現状維持にて継続	

2. 次年度の取組内容

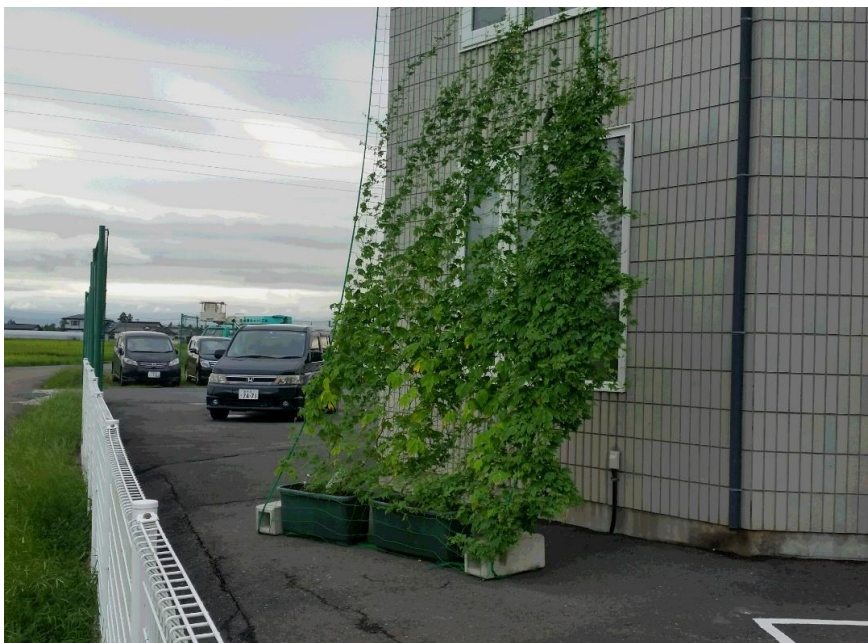
- (1) 二酸化炭素排出量の削減
継続して取り組む。
- (2) 廃棄物の排出削減
継続して取り組む。
- (3) 節水(排水対策)
漏水修理後の経過観察をし、新たな使用料を確認する。
- (4) グリーン購入
グリーン購入リストの作成を検討する。
- (5) 製品・サービスに関する取組
中古部品の使用の提案を検討する。
- (6) その他の取組
地域貢献活動は今後も率先して参加する。

グリーンカーテン取組状況

遮光用のグリーンカーテンの栽培



ゴーヤを栽培し、グリーンカーテンを造りました。
連日の猛暑により伸び悩みましたが、窓部に日陰が出来る程に成長してくれました。
窓を開放し、冷房の節約に貢献出来たと思います。



8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は、令和3年10月の時点で法律違反、訴訟、環境に関する苦情等はありませんでした。

内容	結果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無
環境に関する苦情の有無	無

代表者による全体評価と見直し結果

1. 環境経営方針

環境理念、環境方針は全従業員が理解している。
今後も、継続していきたい。

2. 環境経営目標

各項目共取り組みの効果が出ており、良い結果とおもえる。

3. 環境経営計画及び環境経営実施体制

環境活動計画は、十分な結果が出ている。今後も継続していきたい。

4. その他

特になし。

5. 全体評価

昨期中盤から続く新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みながらの活動となったため、往平時に戻りつつある部分とそうでない部分を整理しながらの振り返り・評価をすべきと考え、そういった意味で評価基準の妥当性をどの部分に見出すかが引き続き難しい状況であった。

営業部門については、昨期から推進している在宅・リモートでの営業活動等は継続しているものの、やはり対面に代替できない業務範囲は多分に有り、そこが昨期よりも活性化してきた影響で、使用燃料等の増加が見られた。これは昨期の値をあくまで外れ値と考えて、新たな評価基準を引き続き見定めていく必要があると考えている。今後の経済活動の状況や各々働き方の変化に対応しながら、その時々状況に適うものを指針としていきたい。

工事部門については、工事件数が増加した為移動車輛の使用燃料は増加したが、現場使用燃料は減少した。要因としては作業の効率化や技術・速度の向上が大きいと考えている。これは当社・お客様・環境にとって三方良しの結果に近づく変化であったため、非常に高く評価できる点であった。今後も引き続きの練磨を期待し、社として推進していく。

ワクチンの普及もあり徐々に経済活動の活性化が見えてきているが、社会がコロナ流行全く同じ状況や価値観に戻るわけでは無く、それは企業活動や働き方についても同様だと考えている。重複するが、引き続き社会の動向を把握しながら、環境への取り組みについて当社としての実行項目や評価基準について整理しつつ進めていきたい。